

Contents

- P1 会長挨拶
 P2 理事長・総長寄稿文/学長寄稿文/2026年賀詞交歓会報告
 P3 2026年霞賞授与式報告
 P4 付属日本語学校奨学金授与式報告/代議員選挙結果/事務局だより

会長挨拶

信頼ある霞会の 持続的発展を願って

一般社団法人東京国際大学霞会

会長 八子登



2026年の新年が始まり、早くも卒業・入学の季節を迎えました。

3月14日には東京国際大学の2025年度卒業式が挙行され、多くの学生が社会へと巣立っていきました。学部および大学院をご卒業された皆様に、心よりお祝い申し上げます。卒業生代表の答辞において、本学の建学精神である「公德心」を体した社会人として活躍する決意が述べられ、大変頼もしく感じました。今後のご活躍を祈念いたします。

また、4月1日には入学式が執り行われ、新たな門出を迎える皆様をお迎えました。在学中に「公德心」を学び、大きく成長されることを期待しております。付属日本語学校からは、本年7名が本学に合格し、そのうち成績優秀者3名に対して、2月16日に霞会奨学金を授与いたしました。

さて、本年は60年に一度の「丙午」の年にあたります。強いエネルギーを象徴し、「停滞を打破し、物事を好転させる好機」とも言われています。誰のため、何のために、何をなすべきかを合理的かつ現実的に熟慮し、課題に取り組んでまいります。

新年の恒例である箱根駅伝において、母校は見事にタスキをつなぎ切りました。その健闘を称えるとともに、次なる予選会を突破し、2027年大会でのさらなる飛躍を期待しております。加えて、各強化クラブにおいても優れた成果が見られ、霞会として組織的な支援体制の強化に努めてまいります。

本年1月末には、創設51年目となる霞会賀詞交歓会を開催いたしました。多くの会員の皆様にご出席いただき、また大学関係者のご臨席ならびに実行委員各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

本年度の霞賞は、経済部門において黄綬褒章を受章された松坂卓夫殿、スポーツ部門においてウエイトリフティング世界選手権第2位の宮本昌典殿に授与いたしました。また、霞会創設50周年を記念し、これまで同窓会の発展に多大な貢献をされた以下の方々にも霞賞を授与いたしました。

初代会長の尾谷長彦殿、一般社団法人化後初代会長の君野信太郎殿、母校の発展に寄与された山田一信殿、スポーツ支援に尽力された斎藤佳邦殿に、深い敬意と感謝を表します。

本年は代議員および理事の選挙の年でもあります。すでに106名の代議員が確定いたしました。その数が減少傾向にあることは課題として認識しております。代議員および理事に立候補される皆様には、その責務を自覚し、「順法順則」「誠実忠実」の精神のもと、霞会の発展にご尽力いただきますようお願いいたします。

霞会は「会員相互の親睦」と母校の発展への寄与を目的としています。母校との信頼関係を礎に、次世代へと確実に引き継がれる組織であり続けなければなりません。

事務局では、現状の課題を見直し、組織基盤の強化と会員サービス向上に向けた体制整備を進めております。具体的には、顧客管理システムの刷新、ホームページの更新、ネットワークの強化、さらには強化クラブ支援体制の構築などに取り組んでまいります。加えて、人材育成にも注力してまいります。

今後とも、霞会のさらなる発展に向け、必要な事業や活動を現実的かつ合理的に検討し、挑戦を続けてまいります。会員の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

Wishing for the Continued Development of the Trusted Kasumi-kai

As the year 2026 begins, we have already entered the season of graduations and new enrollments.

On March 14, the 2025 Commencement Ceremony of Tokyo International University was held, and many students embarked on their journeys into society. I would like to extend my heartfelt congratulations to all those who graduated from both the undergraduate and graduate programs. In the valedictory address delivered by the student representative, a firm determination was expressed to contribute to society as individuals embodying the University's founding principle of "public-mindedness." This was truly encouraging, and I sincerely wish all graduates continued success in their future endeavors. Furthermore, on April 1, the Entrance Ceremony was held, welcoming those who are beginning a new chapter in their academic lives. We look forward to seeing each of you learn and embody the spirit of public-mindedness during your time at the University and achieve significant personal growth.

From the affiliated Japanese language school, seven students were admitted to the University this year. Among them, three outstanding students were awarded the Kasumi-kai Scholarship on February 16 in recognition of their academic excellence.

This year corresponds to the Fire Horse in the traditional zodiac cycle, which occurs once every 60 years. It symbolizes strong energy and is often regarded as a time of opportunity to overcome stagnation and bring about positive change. With careful, rational, and practical consideration of what should be done, for whom, and for

what purpose, we will continue to address the challenges before us.

In the annual New Year tradition, the Hakone Ekiden, our alma mater successfully completed the relay race. We commend their admirable performance and look forward to their advancement through the upcoming qualifiers and to even greater achievements in the 2027 competition. In addition, our strengthened athletic clubs have demonstrated excellent results, and Kasumi-kai will continue to enhance its organizational support system. At the end of January this year, we held the Kasumi-kai New Year Reception, marking the 51st year since its establishment. We are deeply grateful to the many members who attended, as well as to the University officials for their presence and to all members of the organizing committee for their dedicated efforts. This year's Kasumi Awards were presented to Mr. Takuo Matsuzaka, recipient of the Yellow Ribbon Medal in the field of economics, and to Mr. Masanori Miyamoto, who achieved second place at the World Weightlifting Championships in the field of sports. In addition, to commemorate the 50th anniversary of Kasumi-kai, awards were also presented to the following individuals who have made outstanding contributions to the development of the alumni association:

Mr. Nagahiko Otani, the first President;
 Mr. Shintaro Kimino, the first President following incorporation as a general incorporated association;
 Mr. Isshin Yamada, for his contributions to the development of our alma mater; and

Mr. Yoshikuni Saito, for his dedicated support of athletic programs.

We express our deepest respect and gratitude to all of them.

This year is also an election year for delegates and board members. While 106 delegates have already been confirmed, we recognize the declining number as an issue that must be addressed. We ask all those who intend to stand as candidates for delegate or board member to fully recognize their responsibilities and to devote themselves to the development of Kasumi-kai in the spirit of compliance with laws and regulations and sincerity and integrity. Kasumi-kai exists to promote mutual friendship among its members and to contribute to the development of our alma mater. Grounded in a relationship of trust with the University, it must remain an organization that is reliably passed on to future generations.

The Secretariat is currently reviewing existing challenges and working to strengthen the organizational foundation and improve member services. Specifically, we are undertaking initiatives such as renewing our customer management system, updating our website, enhancing our network infrastructure, and establishing a support framework for athletic clubs. In addition, we are committed to the development of human resources. Moving forward, we will continue to realistically and rationally examine the necessary projects and activities for the further advancement of Kasumi-kai and take on new challenges. We sincerely ask for the understanding and continued support of all our members.

理事長・総長



TIUSスポーツの意義
感謝の歴史(第二部)

東京国際大学 総長

倉田 信靖



硬式野球部、女子ソフトボール部、男子サッカー部の発足については、前号に紹介した。

今回は、ゴルフ部、ウエイトリフティング部について、発足の記憶を辿ることにしたい。

何故「ゴルフ部」かの解は、ズバリ紳士、淑女のスポーツであることによる。東京国際大学は、紳士、淑女の国際人の育成を掲げている。

国内のみならず国際社会に活躍する卒業生の活躍の場は、複合的であり、かつ紳士、淑女の活躍に寄与するものであることが望ましい。

前号において硬式野球(古葉竹識)、男子サッカー(前田秀樹)、女子ソフトボール(宇津木妙子)を紹介したところであるが、本学の「ゴルフ部」の創設時の監督は、並木弘道氏であった。氏は数少ないTUI出身のプロ選手であった。かかるOB監督を招聘するとともに、当時の世界のゴルフ界にあつて著名なラリー・ネルソン氏を特任としてお迎えした。

坂戸キャンパスに来学された氏の名称を冠した屋内練習場「ラリー・ネルソンゴルフ&スポーツサイエンスラボラトリー」は、本学坂戸グラウンドにおいて、硬式野球場(二面)、サッカー場(三面)、ソフトボール場(二面)に次ぐ巨大な施設といえよう。

内装は、芝によるグリーンを中央に設けるとともに、バンカー及び自動のボール昇降機を備え、設計も名門「オーガスタ」にならった施設である。

惜しむらくは、OB並木弘道氏は就任後間もなく、関係者、ご家族に見守られながら彼岸に旅立たれたことである。

不思議なご縁は、並木氏の学生時代に他大学のエースとして共に活躍された湯原信光(現在プロ)が、並木氏の後任監督として本学のゴルフ部監督に就任されたことである。更にヘッドコーチに淵脇常弘(ミズノゴルフアカデミーヘッドプロ)を招聘している。

この甲斐あつてか、本学ゴルフ部からは既に男女のプロが複数、誕生している。

ウエイトリフティングの著名人といえ、三宅義信以外にはいない。1964年東京オリンピック(金メダル)、1968年メキシコシティオリンピック(金メダル)など、世界を代表する指導者である。

かかる三宅義信氏が直接指導にあたっている活動場所が、TUI川越「第2キャンパス」である。

小池百合子氏(現都知事)の推薦をいただき、本学の特任教授として就任されている。

ご着任以来、本学ウエイトリフティング部は男子、女子ともに全日本大学競技大会において優勝回数を重ね、強豪大学の一角に名を連ねている。

既に、2020東京オリンピック、その後のパリオリンピックに日本代表選手として育成された宮本正典(本学卒業生)もいる。

紙幅の都合により、今号はここまでの紹介にとどめ、以下、順次、強化クラブの紹介を継続する。

学長通信

東京国際大学 学長

平山 龍水



本年1月に開催されました霞会新年賀詞交歓会にお招きいただき、八子会長はじめ幹部の皆さま、会員の皆さまにご挨拶させていただく機会をいただきました。その折の会場の雰囲気は卒業生の皆さまの母校に対する熱き思いがひしひしと感じられ、私自身も微力ながら東京国際大学をよりいっそう発展させなければという覚悟と責任感をさらに強くいたしました。

今日、社会はかつてない速度で変容し、大学に求められる役割も多様化しております。また、今後18歳人口の減少率が激しく、多くの大学が定員を維持できない危機的な状況になると予想されています。

しかし、本学はこれまでスポーツ系学科や医療健康学部、創設、Eトラックコースの設置、さらには池袋キャンパスの開設など、倉田信靖理事長・総長のもとで一歩一歩着実に成長を遂げてきております。そして、これからもさまざまな改革に取り組み、皆さまの母校である東京国際大学の名を一層高めていきたいと考えております。

皆さまが在学中に培われた知見や経験そして友情は、卒業後の歩みの中で形を変えながらも、皆さまの人生における確かな支えとなつてきたことと思ひます。ご卒業後、それぞれの道で活躍されている皆さまの姿は、大学にとって何よりの誇りであり、また後輩の学生諸君にとっては大きな励みとなつております。そして、これからの本学の改革への取り組みは、大学だけで完結するものではなく、同窓生の皆さまとのつながりによって、より豊かな広がりを持つものと確信しております。それゆえ、教育・研究・地域連携などの各分野において、皆さまのお力添えを賜れば、これほど心強いことはありません。どうか今後とも、皆さまの「帰る場所」としての母校である東京国際大学を温かく見守り、時に力強く支えていただければ幸いです。

2026年

一般社団法人
東京国際大学霞会
賀詞交歓会

開催報告

2026年1月31日(土)ホテルメトロポリタン池袋4階「桜の間」において、大学関係のご来賓者や同窓生など110名と大勢の方々にご参加頂き、「2026年一般社団法人東京国際大学霞会賀詞交歓会」が開催されました。

池田稔副会長の開会の辞で始まり、八子登会長が新年の挨拶をされ、倉田信靖理事長・総長にご挨拶を頂戴し、乾杯のご発声を藍旗会会長高橋はづき様にお願ひ致しました。乾杯の後、霞賞授与式を執り行い、霞賞受賞者を代表いたしました君野信太郎様にご挨拶を賜りました。

様々な年代や職種と同窓生が集まり大盛況の賀詞交歓会となりました。最後に出席者全員で東京国際大学校歌を歌い、名残惜しい雰囲気の中で閉会となりました。



2026年霞賞授与式報告

2026年1月31日(土)に霞賞授与式がホテルメトロポリタン池袋「桜の間」で開催されました「2026年 東京国際大学霞会賀詞交歓会」において挙行されました。今回、霞賞は6名に贈られました。

一般社団法人東京国際大学霞会 2026年霞賞受賞者

尾谷 長彦 様 (商学部1期卒・平 雄之ゼミ・放送研究)



経歴
 1943年 大阪府大阪市生まれ
 1961年 大阪府立 高津高校 卒業
 1965年 国際商科大学 入学
 1969年 国際商科大学 卒業(一期生)
 1969年 榊守谷商会 入社
 1974年 国際商科大学 同窓会創立 会長就任
 1989年 同窓会会長 退任

座右の銘・信条、同窓会員の皆様に向けて

「実るほど頭が下がる稲穂かな」が信条です。

大学卒業後、数名の有志と同窓会設立について模索している中、大学側とも協議の結果漸く五年後、霞会設立の運びとなりました。同窓会員の確認、住所録の整備、会費徴収、会報発行、同窓会の実施等問題は山積、軌道に乗るまで紆余曲折がありました。

更に、念願の霞会法人化も達成できたのは、偏に会員の皆様のご協力と大学側の支援の賜物によるものと改めて思う次第であります。

昨今の少子化問題で、大学経営は益々厳しさが増す中、霞会の役割は重くなってきております。ご承知の通り、大学の発展なくして霞会の存在はありません。今後ともに、霞会は如何にして大学発展に寄与していくか、皆様のご意見も切望するものです。

受賞者コメント

この度は、栄えある霞賞を賜り身に余る光栄であります。

これは、私個人にではなく、霞会設立に協力頂いた今は亡き三宅君はじめ有志の方や霞会法人化に尽くされた君野君ら多数の関係者の方々と共に戴いたものと理解しております。

私は、本学一期生の卒業生であります故、大学に寄与していきたい旨考えていました。数名の有志と必然的に先ずは同窓会設立が急務と思い至った次第です。

あれから、霞会は設立五十周年を超え、同窓会員は7万名に達しています。

これは、霞会会員のみならず、大学の皆さま方のご支援の賜物と思っております。今後とも、大学の更なる発展を願いお礼の挨拶と致します。深謝申し上げます。

(追記)

私は、大学一期卒業後、1969年(榊守谷商会)に入社しました。

お蔭様で、その後母校より暫く、毎年一名採用され、時には女性も採用、総数30名弱になります。残念ながら近年は途切れておりますので、何とか復活させたいものです。

君野 信太郎 様 (商学部4期卒・川田 秀雄ゼミ・跆拳道部)



経歴
 2010年 6月 霞会会長就任
 2014年 9月1日 一般社団法人東京国際大学霞会設立
 2024年11月 霞会会長退任

座右の銘・信条

「上善は水のごとし、水は善く万物を利して而も争わず」
 「吾の道、一を以て之を貫く」(吾道一以貫之)

同窓会員の皆様に向けて

霞会が盤石な組織として確立されるようご支援、ご協力をお願いいたします。

宮本 昌典 様 (人間社会学部51期卒・三好 英次ゼミ・ウエイトリフティング部)



経歴
 全日本選手権大会 通算5度優勝(2016・2017・2019・2020・2022)
 2016年 世界ジュニア選手権大会69kg級 3位
 2017年 世界ジュニア選手権大会69kg級 2位
 2017年 ユニバーシアード競技大会69kg級 3位
 2019年 EGAT's Cup世界大会73kg級 3位
 2019年 IWFワールドカップ73kg級 3位
 2020年 アジア選手権大会73kg級 3位
 2021年 東京2020オリンピック73kg級 7位

齋藤 佳邦 様 (商学部6期卒・本田 実ゼミ・剣道部)



経歴
 1992年 剣道部OB・OG会(霞道会)会長就任(在任期間12年)
 2006年 藍旗会(東京国際大学OB・OG会)会長就任(在任期間16年)

座右の銘

宮本武蔵の五輪書独行道の中の一説にある「我事において後悔をせず」を卒業後に座右の銘としました。

受賞者コメント

この度、このような賞を賜り光栄に存じます。

賞に値するようなことを行ってきたという実感が無いのですが、偏に藍旗会の皆さん、霞会埼玉県支部及び近隣支部のみなさん。剣道部OB・OG会(霞道会)のみなさんの力強い支えがあってここまでやってこられました。感謝。御礼申し上げます。

松坂 卓夫 様 (商学部13期卒・阿部 光典ゼミ・バスケットボール部)



経歴
 昭和56年 4月 松栄不動産株式会社入社
 平成15年 4月 同社専務取締役就任
 平成18年12月 同社代表取締役社長就任 現在に致る

仙台ビルディング協会関係

平成19年 5月 理事就任
 平成23年12月 副会長就任
 平成25年 5月 会長就任 現在に致る

その他団体

| | | |
|-----------------|------------|-------|
| 仙台商工会議所不動産部会会長 | 平成25年11月就任 | 現在に至る |
| 仙台駅東口商工業協同組合理事長 | 平成19年10月就任 | 現在に至る |
| 仙台駅東まちづくり協議会理事長 | 令和元年10月就任 | 現在に至る |
| 宮城野区民協議会会長 | 平成23年 5月就任 | 現在に至る |
| 夏まつり仙台すずめ踊り大会会長 | 平成16年 7月就任 | 現在に至る |
| 仙台駅東活性化連絡協議会会長 | 平成29年 4月就任 | 現在に至る |
| 榴岡公園お花見協賛会大会会長 | 平成17年 3月就任 | 現在に至る |
| 仙台駐車場協会副会長 | 平成20年 4月就任 | 現在に至る |
| (公社)仙台中法人会会長 | 令和 7年 6月就任 | 現在に至る |

受章歴

令和2年 7月 国土交通大臣表彰
 令和4年 7月 市政功労者章
 令和5年11月 仙台国税局長表彰

座右の銘・信条

- 座右の銘:常に前進、チャレンジ
- 信条:最後は人柄が決まる

受賞者コメント

この度の受賞は、決して私一人の力によるものではなく、多くの出会いと会社、所属団体、組織に恵まれたとつくづく思います。

皆様のご支援、お力添えの賜物であり、心からの感謝を申し上げます。

今日までのご縁こそが私にとっては最大の財産になります。

この栄誉を励みとして、これからも前進することを忘れず地域社会の発展の為に微力ながら努めて参ります。

座右の銘・信条

- Stay Gold 輝き続けろ

※73kg級スナッチ、クリーン&ジャーク、トータルの日本記録保持(2024年11月現在)

2025年度東京国際大学付属日本語学校 霞会奨学金授与式

2026年2月16日(月)東京国際大学付属日本語学校において、優秀な成績を修め、かつ東京国際大学に入学が決定した学生に霞会より奨学金を授与いたしました。

今回授与された3名は、台湾出身のチェン ポーハンさん、ミャンマー出身のナン ピュ ピュ タンッさん、マレーシア出身のラウ ホンウェイさんです。

会長の八子よりそれぞれの方へ賞状ならびに奨学金を授与させていただき、一言ずつ感想をいただきました。

最後になりましたが、授与式の間をご提供いただいた東京国際大学付属日本語学校に感謝いたしますと共に、ご列席いただいた倉田静枝校長、肥田野美和教務主任ならびに細川和秀事務局長に御礼申し上げます。



一般社団法人東京国際大学霞会 第4期代議員一覧表

第4期代議員を選出する為に2025年11月21日に公示、2026年1月7日に受付締め切りで代議員選挙を行いました。
選出すべき代議員の定数60名以上500名以下に対し「代議員一覧表」の通り定数内の106名となりました。

※敬称略

| 氏名 | 学部 | 期 | 氏名 | 学部 | 期 | 氏名 | 学部 | 期 | 氏名 | 学部 | 期 | 氏名 | 学部 | 期 |
|--------|----|---|--------|----|----|---------|----|----|--------|----|----|--------|----|----|
| 浅見 寿男 | 商 | 2 | 吉田 光子 | 商 | 9 | 鈴木 和裕 | 教 | 13 | 百合野 士郎 | 商 | 16 | 田中 聖士 | 商 | 25 |
| 義間 一志 | 商 | 2 | 足立 尚陽 | 商 | 10 | 竹井 三雄 | 商 | 13 | 米田 光太郎 | 商 | 16 | 中島 淳 | 教 | 25 |
| 八子 登 | 商 | 2 | 池内 晴一 | 商 | 10 | 中本 法良 | 商 | 13 | 生田 正和 | 商 | 17 | 箕浦 克也 | 商 | 25 |
| 堀 百合子 | 商 | 5 | 伊東 和博 | 商 | 10 | 初見 清隆 | 商 | 13 | 井上 誠一 | 商 | 17 | 宇田川 敬之 | 経 | 28 |
| 落合 正和 | 商 | 6 | 大道 英隆 | 商 | 10 | 松永 治寿 | 商 | 13 | 樋口 恵一 | 商 | 17 | 辰己 寛 | 商 | 29 |
| 年見 健一 | 商 | 6 | 仲村 昌夫 | 商 | 10 | 伊藤 亮 | 商 | 14 | 藤崎 匡介 | 商 | 17 | 井沢 元博 | 商 | 30 |
| 中村 嘉人 | 商 | 6 | 池田 稔 | 商 | 11 | 岡山 隆一 | 商 | 14 | 布田 尊士 | 商 | 17 | 居城 洋 | 商 | 30 |
| 赤木 洋児 | 商 | 7 | 川村 重忠 | 商 | 11 | 川北 恭司 | 商 | 14 | 和田 克行 | 商 | 17 | 河原 亮 | 商 | 30 |
| 壹岐 満明 | 商 | 7 | 佐藤 忠雄 | 商 | 11 | 佐藤 善亮 | 商 | 14 | 草間 正俊 | 商 | 18 | 水野 亘 | 商 | 30 |
| 尺田 庸次 | 商 | 7 | 住田 茂也 | 商 | 11 | 志田 朗 | 商 | 14 | 森田 幸子 | 教 | 18 | 井上 貴晶 | 人 | 31 |
| 西嶋 昭裕 | 商 | 7 | 高田 美介 | 商 | 11 | 備前島 久仁子 | 教 | 14 | 相田 裕介 | 商 | 19 | 高橋 宏文 | 商 | 31 |
| 長谷川 公明 | 商 | 7 | 高橋 大蔵 | 商 | 11 | 吉田 正人 | 商 | 14 | 川松 正博 | 教 | 19 | 本間 理左 | 国 | 32 |
| 松浦 悦司 | 商 | 7 | 松井 泰樹 | 商 | 11 | 吉本 悟朗 | 商 | 14 | 鈴木 孝紀 | 商 | 19 | 中澤 淳 | 国 | 33 |
| 横山 義雄 | 商 | 7 | 笠原 宅美 | 商 | 12 | 近江 誠一 | 商 | 15 | 相原 秀一 | 商 | 20 | 高橋 兼太 | 商 | 34 |
| 吉野 宏 | 商 | 7 | 滝山 孝之 | 商 | 12 | 神山 誠宏 | 商 | 15 | 秋山 昭治 | 商 | 20 | 山崎 宏行 | 商 | 34 |
| 赤石 悦子 | 商 | 8 | 田畑 宏和 | 商 | 12 | 佐々木 文哉 | 商 | 15 | 勝山 嘉彦 | 商 | 20 | 山田 時代 | 商 | 34 |
| 齋藤 雅之 | 商 | 8 | 槇島 栄治 | 商 | 12 | 高野 政弘 | 商 | 15 | 星野 健一 | 商 | 21 | 山田 忠良 | 人 | 36 |
| 柴田 眞 | 商 | 8 | 小野寺 靖 | 商 | 13 | 栃木 由美子 | 商 | 15 | 熊谷 健一 | 商 | 22 | 小林 弘樹 | 国 | 37 |
| 長尾 政明 | 商 | 8 | 加藤 清 | 商 | 13 | 三宅 良治 | 教 | 15 | 佐竹 真一 | 商 | 22 | | | |
| 長野 光司 | 商 | 8 | 黒須 久恭 | 商 | 13 | 柏野 幸彦 | 商 | 16 | 西 功 | 商 | 22 | | | |
| 安部 孝博 | 商 | 9 | 崎山 真由美 | 商 | 13 | 安永 裕敬 | 商 | 16 | 国立 眞司 | 商 | 23 | | | |
| 宮崎 千枝 | 商 | 9 | 崎山 宗賢 | 商 | 13 | 山岸 浩次 | 商 | 16 | 佐藤 良子 | 教 | 24 | | | |

商:商学部 教:教養学部
国:国際関係学部 人:人間社会学部

事務局だより

霞会からの情報発信

一般社団法人東京国際大学霞会では、本霞会報の他ホームページ・メールマガジンで情報発信を行っています。また投稿依頼も受け付けています。事務局までご連絡ください。



HPトップページ



メルマガ登録ページ

<https://kasumikai.jp/>

Facebookを活用してください

「【公認】東京国際大学霞会 グループ」に参加してください。参加が承認された会員のみが閲覧できるグループですので、近況報告や会員同士の交流の場としてご利用ください。参加する際には必ず、卒期、学部学科、ゼミ、クラブ等の記入をお願いいたします。

住所等変更届けのお願い

会員の皆様には、お名前・ご住所・勤務先等に変更が生じた場合、お手数でも事務局までご連絡をお願いいたします。ご連絡は、電話・FAX・メールの他霞会HP「会員情報変更」でも承っております。お預かりする個人情報は、プライバシーポリシー(個人情報の保護に関する法律)に基づき個人情報を適正に取り扱うことを守ります。封筒記載のQRコードからも住所変更可能です。



住所変更ページ

霞会ホームページリニューアルについて

霞会ホームページをリニューアルいたします！公開は9月頃を予定しております。

同窓会費納入のお願い

霞会は皆様から納めていただいた同窓会費にて運営すると共に、大学や学生への支援を行っております。同窓会費は終身会費にて4万円です。皆様のご協力をお願いいたします(同窓会費の納付状況が不明の方は、事務局までご連絡ください)。

一般社団法人東京国際大学霞会(同窓会事務局)
TEL: 049-232-2080 / FAX: 049-233-3314
E-mail: doso@tiu.ac.jp
URL: <https://kasumikai.jp/>

次号「霞会報 第98号」は2026年12月発行予定

霞会報第98号は霞会ホームページ、Facebookへの掲載のみとなりデジタル化を図っていきます。